

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 1281

事業名	連合PTA補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3020		項	社会教育費・5項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	社会教育総務費・1目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】			
	施策目標	子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳) 南あわじ市連合PTA(南あわじ市内各小中学校PTA会員を対象とする。PTA会員とは、各家庭の保護者複数名と教職員。)				構成人数(人) 7,000
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 各単位PTAが相互に連絡協調し、研鑽を図ることにより、児童生徒の健全育成に寄与することを目的とする。つまり、市の未来を担う子どもたちの人づくり、それを支える大人達の人づくりの基盤となる団体である。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 単位PTA相互の連絡協調 会員の研修 家庭教育の振興 学校教育の充実発展 地域社会における児童生徒をとりまく生活環境の整備などに関する事業を行う。 主なものとして、人権同和研修会、指導者研修会、家庭教育フォーラム、グランドゴルフ大会などの行事、それから、一昨年よりの市内公立高校クラス数確保運動などの取り組みがなされている。				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 団体の主な運営には、各単位PTAの会長・副会長が関わり、単Pとのパイプ役となっている。また、上記の目的達成・事業実施のために、人権同和委員会・研修委員会・社会教育委員会・交流委員会を組織し、活動(計画・運営)を進めている。また、この組織は淡路地区PTA、県PTA(全国PTA)へと広がりを持つ。				
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (生涯学習文化振興課)	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()
					<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
	補助金算出根拠	市補助金660千円 会員7,000人 一人当たり94円				
補助交付期間	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度 ~ 平成 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし					
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	775	775	660	660
	南あわじ市連合PTA補助金	775	775	660	660
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	775	775	660	660
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	1,355	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)			45	
	事業量2(事業に要した人数)			1	
	年間経費([A]+[B])	775	775	2,015	660
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	0.1	0.1	0.3	0.1
受益者人数(7,000)一人当り経費(千円)	0.1	0.1	0.3	0.1	
経費に関する 補足説明	連合PTA全体では、市の補助金その他、会員負担の研修費・負担金、雑収入がある。				

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 19年度予算2,087千円中、市の補助金は660千円で単P及び会員の負担金は1,200千円を占める。また、歳出の内約1,700千円が事業費である。1つ1つの事業の規模が大きく内容も多様、他団体との協働によるものなどもあり、会員負担の上に市の補助金があるため主要事業の継続実施ができていていると考えられる。事業自体は、主要目的達成のために妥当なものばかりである。また、一昨年度から取り組んでいる「公立高校クラス数確保運動」、昨年度からの食育関連の「給食試食会補助運動」など主体的な取り組みも実現できている。	自己評価 (5点評価)
		4
必要性	公共性の高低 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 教育を進めていく上で、PTAは欠くことのできない組織である。また、単位PTAとしての活動が、今後も活発になっていくことがこれからも必要であるが、それだけでは地域性による偏りが大きくなる懸念される。市のまちづくりを進めていく上で、PTAの連合体としての組織を通して、市の教育課題への取り組み、青少年育成への取り組み、地域づくり、また市政の浸透を図っていくことが大切である。そのため、連合PTA活動の公共性は極めて高いと考える。	自己評価 (5点評価)
		5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 経費の節約を検討しているところであるが、今年度は300千円の減収によりほとんどの項目を予算減で進めている。上位組織(淡路・県)との関わりもあり、個人負担も多くなりつつある。また、単位PTAの連合体であることから、連合との距離間がまだまだあることも現実である。一つ一つの事業の内容を、より質の高いもの(講演・座談会)にしていくことにより、意識の転換や、距離感の短縮を図っていかなければならない。ただし、PTA役員の充て職の多さが、単Pから外へのハードルを高くしていることも同時に考えていく必要もある(時間的負担)。	<p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 4 必要性 5</p>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>単位PTAは学校とともに活動していくために継続はしていくであろうが、連合の場合ともすると形式的なものに陥って、形骸化する可能性がある。市内のPTAの単なる連合体としてではなく、互いに支えあう共同体としての位置づけを確立していく必要がある。そのためにも、事業の質の向上は常に目指さなくてはならない。それとともに、充て職等の整理等も考えなければならない。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>PTAについては、事業の縮小より質の転換による維持が必要であるので、補助金がなくなった場合はその分は会員負担に頼らなければならない。仕方ないことであるが、役員等で県あるいは全国に関わる経費まで個人負担になるのは、かなり厳しいものである。つまり、役員になると金銭的負担と時間的負担を強いられるというイメージが一層広がり、本来の子どもたちのために何かをやっていこうということからどんどん意識が離れていく可能性がある。</p>	